とみおか 議会だより

vol. 221
2025.1.22

富岡町二十歳を祝う会

12月の定例会

② こんなことが決まりました
11月臨時会・12月定例会

⑥ ズバリ!! 町政を問う
3議員が質問

⑩ 常任委員会報告
総務文教・産業厚生

⑮ 全員協議会報告
町の重点事業について徹底議論!!

富岡町議会のホームページはこちらから

TOMIOKA GIKAI DAYORI
発行：福島県富岡町議会　住所：〒979-1192　富岡町大字本岡字王塚 622-1
TEL.0240-22-2111　FAX.0240-22-0899

こんなことが決まりました

工事請負契約の変更

[ため池放射性物質対策工事]

甚吾沢ため池放射性物質対策工事の金額の変更について、可決しました。

（11月臨時会）　全会一致・原案可決

【工事請負契約の変更概要】

○金　　額

（変更前）　1億6,500万円

（変更後）　1億7,215万6,600円

○変更理由

・施工内容に変更が生じたため金額を変更

甚吾沢ため池（新夜ノ森地内）

条例の改正

[富岡町長等の給与の特例に関する条例の一部を改正する条例]

富岡町長等の給料月額を減ずるため改正をすることについて、可決しました。

（11月臨時会）　全会一致・原案可決

【概要】

○特例期間

令和６年12月１日から令和６年12月31日

○減額の率

給料月額の100分の10

議員が切り込む!! 質疑応答

【工事請負契約の変更】

問　ポンプ浚渫工法※から一部が直接掘削工法※へ変更となった。直接掘削工法はぬかるみ状態で足場も悪い状況となるが、しっかり放射線量の低減ができるのか。（渡辺三男）

答　産業振興課長

基礎調査により湖底30センチの土砂除去により低減が見込めますが、施工範囲の一部において木の枝や根が多く混入している状況です。ポンプでの土砂吸引に支障を及ぼすため、支障となる部分を少しでも排除し、より効果が上がる対策工事を実施していきたい考えです。

※ポンプ浚渫（しゅんせつ）工法
ポンプで水と一緒に湖底の土砂を吸い上げる工法。

※直接掘削工法
ため池の水を排出し、渇水状態で泥を直接掘削する工法。

【条例の一部改正】

問　100分の10減額の根拠は。また、改正前は平成14年4月1日から平成30年3月31日の期間となっていたが、これまでどのような理由で減額していたのか。（渡辺正道）

答　宮川副町長

町の一般職員についての規程があり、減給処分の内、最も重い割合に準じています。

答　総務課長

平成14年から平成22年までは財政難により、平成23年から平成30年までは震災によりそれぞれ減額し、町政を進める意思を示したものです。

問　町長在任中、職員等の不祥事での町長等の減給は初めてだと思われる。率に関しても町民は納得できないのでは。（高橋実）

答　町長

これまでも不祥事はありましたが、今回9月、10月と続いてしまったことを受け、最も重い率の減給処分としました。今後も職員に対し法令・コンプライアンス等の遵守を伝えていきます。

一般会計 補正予算

事業事務の精査等による減額

《1億7,725万円を減額補正》

事業事務の精査等により１億7,725万円の減額補正を行い、総額150億2,499万円となりました。補正のあった主な事業は下表のとおりです。

事業内容（費目名）	補正予算額
基金積立金（財政調整基金積立金 他13基金）	2,159万円増
環境衛生事業費（消耗品費）	1,749万円減
営農再開支援事業費（補助金）	3,153万円増
営農再開支援水利施設等保全事業（工事費 他）	9,151万円減
中小企業等支援事業費（補助金 他）	1,752万円減
工業団地事業費（用地購入費 他）	7,657万円減
桜保全事業費（工事費 他）	1,320万円減
道路維持管理事業費（委託料 他）	1,825万円減
防災行政無線経費（工事費 他）	2,194万円減
その他	2,612万円増

第14回全国原子力発電所立地議会サミット出席

原子力発電所立地議会の議員同士が原子力発電等の課題について議論し、また、各立地地域における固有の問題等について情報交換を行うことにより、安全・安心の確保と地域の振興に資することを目的として令和６年10月31日から11月１日までの２日間において６名の議員が出席しました。

臨時会・定例会審議議案一覧

令和６年第５回臨時会で審議した議案とその結果

審議議案・概要		結果
◆専決処分の報告及び承認		
議案第61号	専決処分の報告及びその承認について （令和６年度富岡町一般会計補正予算（第３号））	全会一致　原案可決

※第５回臨時会における「工事請負契約の変更」「条例改正」は別頁に詳細を掲載しております。また、各議案については富岡町ホームページにおいても報告しておりますので、ご参照ください。

議員が切り込む!! 質疑応答

【一般会計補正予算】

問　子育て世帯定住促進事業費の増額理由は。（安藤正純）

答　福祉課
当初の見込みよりも申請数が多かったためです。

問　農業水利施設等保全事業の工事費の減額は、予定工事の取りやめなどが原因か。（安藤正純）

答　産業振興課
用地交渉の未了や県道関係の協議が整っていない部分等があり、全４工事を来年度に繰り越すためです。

問　桜まつり事業の謝礼や旅費、駐車場賃借料の減額理由は。（宇佐神幸一）

答　産業振興課
今年度の実行委員会の開催が終了したことにより旅費等を減額しました。
駐車場賃借料については、当初見込みからの差額です。

令和６年の桜まつりの様子

問　社会教育施設利用者宿泊費補助金の増額理由は。また、今般の物価高騰等により補助金の単価を増額する考えはあるか。（渡辺正道）

答　生涯学習課
４月のはじめにふたば未来学園を中心としたバドミントンの世界大会が開催されたことで、国内外からかなりの人数の中学生の宿泊者がありました。また、体育館が利用再開となり、高校生・大学生等、屋内での合宿が増加しているためです。
補助金額について、現時点での増額は考えていません。

問　各基金の令和５年度残高は。（高橋実）

答　各課（一部抜粋）
財政調整基金約77億４，191万円、町勢振興基金約78億９，835万円、特定廃棄物埋立処分事業地域振興交付基金約36億２，183万円、再エネ復興町づくり基金約４億876万円、さくら基金約251万円、文化スポーツ振興基金約２億円などです。

令和６年第６回定例会で審議した議案とその結果

上程議案・概要		結果
◆条例の一部改正・廃止		
議案第64号	富岡町行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例の一部を改正する条例について	全会一致　原案可決
議案第65号	富岡町手数料条例の一部を改正する条例について	全会一致　原案可決
議案第66号	富岡町下水道条例の一部を改正する条例について	全会一致　原案可決
議案第67号	富岡都市計画事業曲田土地区画整理事業の施行に関する条例を廃止する条例について	賛成多数　原案可決 （賛成８、反対１）
追加議案第74号	議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	全会一致　原案可決
追加議案第75号	町長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例について	全会一致　原案可決
追加議案第76号	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	全会一致　原案可決
◆補正予算		
議案第69号 追加議案第78号	令和６年度富岡町国民健康保険事業特別会計補正予算（第２号） （第３号）	全会一致　原案可決 全会一致　原案可決
議案第70号 追加議案第79号	令和６年度富岡町公共下水道事業特別会計補正予算（第２号） （第３号）	全会一致　原案可決 全会一致　原案可決
議案第71号	令和６年度富岡町農業集落排水事業特別会計補正予算（第２号）	全会一致　原案可決
議案第72号 追加議案第80号	令和６年度富岡町介護保険事業特別会計補正予算（第２号） （第３号）	全会一致　原案可決 全会一致　原案可決
議案第73号	令和６年度富岡町後期高齢者医療特別会計補正予算（第２号）	全会一致　原案可決
追加議案第81号	令和６年度富岡町介護サービス事業特別会計補正予算（第２号）	全会一致　原案可決

※第６回定例会における「令和６年度一般会計補正予算」は別頁に詳細を掲載しております。各議案の内容については富岡町ホームページにおいても報告しておりますので、ご参照ください。

一般質問は、議員が町の行財政全般にわたって執行機関に問題点をただし、所信の表明を求めて政治姿勢を明らかにするものです。

ズバリ!! 町政を問う

3議員が質問

12月定例会の一般質問に3議員が登壇し、町の対応や考えなどを問いました。この紙面では、質問した順に質疑応答の要点をお知らせします。

1 渡辺　三男 議員……7

○ 特別養護老人ホーム桜の園の入所基準は

2 辺見　珠美 議員……8

○ 家賃補助制度の改善を

○ ファミリーサポートセンターの徹底した周知を

3 渡辺　正道 議員……9

○ 河川の水害対策における整備状況は

○ 富岡町職員提案規程の現状は

動画配信中！

富岡町公式チャンネル YouTube

※QRコードを読み取ると各議員の一般質問動画が見られます。

※山本町長の一般町政報告はこちらから

山本　育男 町長

渡辺 三男 議員

問 特別養護老人ホーム桜の園の入所基準は

答 入所検討委員会を開催し決定します

問 9月定例会の一般質問から3カ月を経過した現在の桜の園の利用状況は。

答 町長

現在は本年9月時点と変わらない30名の入所者数です。

問 入所検討委員会において、入所の基準は必要性の高い人を優先して順位を決定するとなっているが、改めて詳細を。

答 町長

福島県においては特別養護老人ホームの入所に係る指針により、入所対象となる基準や入所順位の決定手続きを示しています。

まず入所希望者が対象基準になっているかを判断した上で、入所順位として本人の心身の状況及び介護者の世帯状況や介護にかかる負担、また、介護サービスの利用状況等を本指針の参酌基準表に基づき数値化したものをもって、入所検討委員会において合議制により決定します。

入所検討委員会は、施設長、生活相談員、介護職員、介護支援専門員及び第三者委員会等で構成され、特段の必要性がある場合を除き、概ね3カ月に1回開催することとなっており、桜の園においてもこの指針に則り入所判定を行っています。

問 原子力発電所の事故による避難で体に堪えたのは年配者と子どもであると私は思っている。現在は他の施設に入っているが富岡町に戻りたいと希望する年配者も多く、その方たちの心のケアを考えた場合、いち早く入所の決定をすることが必要ではないか。

答 福祉課長

生まれ育った富岡町にという思い、意向に沿った形で対応していきたいと考えていますが、無理に移動をすることで、環境の変化等により体調不調になってしまうことも見受けられることから、慎重に判断していきます。

問 開所から2年が経とうとしているのに入所者が35名前後で推移している。施設の考え方や県からの指導などあるかとは思うが、入所を希望する年配者が多くいる中で、検討委員会はどのような考えで入所決定をしているのか。

答 福祉課長

令和3年度を準備期間とし、令和4年度と令和5年度で27名程度。令和6年度から令和8年度で35名程度とし、最終的に定員である48名まで伸ばしていく計画を立てています。なお、計画の設定については県にも確認をし、現在は正常な範囲であるとされています。

問 被災地域は、介護施設に限らず、商店街やあらゆる場面で人員不足で困る状況が生まれている。桜の園の48名満床の入所を見込める職員数がいるとすれば、現在の30名が適正とは思えない。

答 福祉課長

現在の職員数は当初からの施設設置計画に基づき28名であり、入所者の受け入れ上限は45名となります。今後は職員数を増員する計画であり、現時点では職員数と入所者数のバランスは取れているものと考えます。

特別養護老人ホーム 桜の園

問 本来、行政の施設は本当に困っている人を受け入れるべき。自宅で介護が可能であれば入所基準の順位に反映すべきでは。

答 福祉課長

自宅での介護については、それぞれの家庭の状況や関係性を勘案する必要があります。入所基準の参酌基準表は、「本人の状況」で22項目、「介護者の状況」で7項目、「介護サービスの利用状況」で2項目あり、数値化したものを更に具体的に検討するものです。

問 家賃補助制度の改善を

答 見直しを行うとともに、周知に努めています

辺見 珠美 議員

問 移住者向けの施策である、物件の貸主に対する家賃低廉化補助制度の今年度の利用者実績は。

答 町長
今年度は物件登録など30件を超える相談を受け、この内10件程度が申請に至る見込みです。

問 現在の富岡町の制度について、移住者を増やしていくために内容を改善した方が良いと思われるが、町の考えを伺いたい。

答 町長
本事業開始の令和4年度から令和5年度まで活用が進まなかったことから、今年度においては集合住宅における居住要件を5年から3年へ緩和、貸主への支払い方法について四半期単位を可能に、不動産仲介事業者の範囲を拡大するなど、活用を促進するための見直しを行うとともに、より一層わかりやすい周知に努めたことで、相談や申請見込みが増加しているものと考えます。
持続可能な住環境の提供を通じ、さらなる帰還と移住の促進に取り組みます。

問 当町の制度では貸主が物件登録等の煩雑な手続きを行う必要がある。その負担が大きいためか、貸主がこの制度を利用したくないというケースもあると聞く。他自治体では、移住者が住みたい物件を選んで基本的な手続きを行い、貸主は申請時の書類作成と請求書の作成を役場のサポートを受け行うことで、貸主・借主双方の負担が少なくなり、毎年10件前後の利用実績がある。

このような方法に変えれば利用者も増え、移住者の増加に繋がるのではと思うが、町の考えは。

答 企画課長
町内の物件をワンストップで紹介できるよう物件を登録していただき、とみおかプラスが移住紹介をしていますが、訪れた移住希望者がそこで物件を見て選び、契約まで一括で行えるよう物件の集約をしたいと考えており、登録制としています。
本格的な始動は今年度からですので下地を固めて、来年・再来年と広がるように努力していきます。

とみおかくらし情報館(とみおかプラス)

問 ファミリーサポートセンター再開のため会員募集がホームページ等で広報されたが、今年度の依頼会員と提供会員の募集目標数は。

答 町長
今年度は募集目標数は設定せず、まず本体制への理解醸成を図りスタートすることを目標としました。

問 ファミリーサポートセンターの役割を実現する上で、提供会員を増やし、いつ依頼会員から依頼があっても万全な体制を構築する必要がある。
双方の会員を増やすため、徹底した周知と会員養成が必要だと思われるが、周知不足ではないか。

答 町長
令和6年9月の広報紙とホームページ等で広報しましたが、問い合わせが3件ほどにとどまっています。原因としてはファミリーサポートセンター事業を知らない方々に対して内容が分かりにくく関心が持たれなかった、現在の富岡町では会員となり得る方が潜在していないなどの可能性が考えられます。
ファミリーサポートセンター事業は町にとって必要と考えますので、今後は分かりやすい内容での周知に一新し、関心を持たれるような案内を加えていきます。民生児童委員や老人クラブなど団体への働きかけ、町内店舗へのチラシの設置依頼など、様々な場面で広く知っていただけるよう広報を実施します。
また、年度内には提供会員の講習を実施する予定であり、日時や内容などを具体的に示すことで申し込みへの動きを促していきたい考えです。

ファミリーサポートセンターの徹底した周知を

答 様々な場面で広く広報します

問 河川の水害対策における整備状況は

答 必要な流下能力確保のため河道掘削を実施

渡辺 正道 議員

問 近年多発する集中豪雨、県管理の富岡川・紅葉川水系、町管理の準用河川の水害対策における整備状況について伺いたい。

答 町長
大雨時の洪水対策も強化されています。維持管理については、必要な流下能力を確保、河道掘削等も実施し、町が管理する河川は適正な流下能力の確保に努めています。

問 諸沢橋から上流の橋脚において、流水高を目視できるような標識や水量計がないが、その必要性の認識は。

答 生活環境課長
水防計画では、門口橋1箇所の水位上昇に合わせて判断、水防団員が見回りを行います。

問 土砂流出などの観点から、流域の治山対策における現状は。

答 町長
山地災害防止に加え、治山事業、急傾斜地対策事業を県が実施しています。

問 富岡川の河道掘削にともない流域、掘削した砂等の放射線量測定は事業内で行っているのか。

答 都市整備課長
通常の工事として進めていましたが、富岡町においては一番の問題であることから、県から情報を得ていきます。

問 内水氾濫の冠水箇所2箇所程度とは。

答 都市整備課長
曲田都市計画街路1号線の大きな交差点と岡内大通り線の双葉警察署より少し西側です。改修の検討をしています。

問 富岡町職員提案規程があるが現状について伺いたい。

答 町長
令和元年度当時に管理監督職への登用が若年化していた状況を踏まえて研修の充実を図るよう提案があり、事務事業と行政効果の向上に資するものと判断し、実務研修として議会対応研修を取り入れた実績があります。
職員の創意工夫による提案は、業務改善意欲の表れであり、モチベーションの向上にも有益であると考えることから、今後、積極的に制度の周知に努めます。

富岡町職員提案規程の現状は

答 研修の充実を図る提案を受けたき姿を今まで以上に論議し、復興を加速度的に、進めていただきたいが。

答 町長
職員・町民の方と対話をしながら町政を進めていくべきですが、まだ不十分と考えます。将来に向けて職員と共に一丸となって、復興を進めたいと思います。

問 職員の仕事に対する意識・意欲には常に緊張感を持ってあたるべきと考えるが、現状に対し執行部としてどのような認識か。

答 町長
すべての職員は全体の奉仕者としての使命を自覚して、意欲的に仕事へ取り組み、自らを律し、信用失墜に繋がる非違行為をしてはならないと考えます。

問 昇任・昇格及び人事評価について、どのような基準のもとで行われているのか。

答 町長
昇任・昇格は、国家公務員に適用される人事院規則の「初任給、昇格、昇給等の基準」に準じています。また、人事評価については「人事評価の基準、方法等に関する政令」を参考としています。

問 庁内にはガラスの天井のような、見えない空気感がある、職員同士、自由闊達な意見を述べられるような場所、機会が設けられていないのではないか。今後の富岡町のあるべ

これも質問!!

問 帯状疱疹ワクチンの助成を新たに追加してはどうか

答 来年度からの実施に向け、助成制度の検討を開始

総務文教常任委員会

総務文教常任委員会が調査した主な事業について報告します。

【所管課】
○総務課
○企画課
○税務課
○出納室
○住民課
○教育総務課
○生涯学習課
○議会事務局

※常任委員会とは①
本会議前に議案などを事前に審査したり、各課の事務の執行状況などを調査する場です。

≪ 投票率を上げる施策について ≫

Q 富岡町の投票率が低い現状だが、投票率を上げる施策は。

A 選挙のお知らせ版の文字を大きくして見やすくすること、投票方法を分かりやすく表記すること等、必要な情報をしっかりと周知する取り組みをしています。併せて、SNSでの周知も行っています。
福島県選挙管理委員会とも連携し、有効な取り組みがないか検討しながら、今後踏み込んでやっていきたいと考えています。

【総務課】

≪ 交流・関係人口から定住人口へ ≫

Q 交流・関係人口拡大のための大学生インターンプログラムにおいて、将来的に定住人口増加に繋げられるようにしてもらいたい。

A 効果や成果がすぐにでるものではなく、まずは富岡町を知ってもらうことで先に進めていきます。現在は大学１～２年生の学生が多く、今後も富岡町と継続的に繋がってもらい、将来的に移住者の増加に繋がるようなコンテンツとして行っていきたいと考えます。

2024年度実施のインターンプログラム成果発表会

【企画課】

≪ 富岡町の魅力発信を ≫

Q 富岡町災害復興計画（第三次）において、町内産の米や魚、野菜などをもっとPRすべきと考える。

A 農産物、水産物の付加価値向上という大きな目標があります。その中で、町内産の農作物をどのようにPRしていくかということも組み込まれています。

【企画課】

≪ 保護者の不安払しょくを ≫

Q 小・中学校の保護者が抱える子どもの発達を含む悩みや不安を相談できる場所はあるのか。

A 小・中学校ではスクールカウンセラーに相談できる体制をとっています。また、担任が保護者の相談に乗れるよう積極的な声かけを行う等、信頼関係の構築ができるよう努めており、学校が保護者をバックアップできるようにしています。

【教育総務課】

≪ 交流の場について ≫

Q 保護者同士が交流できる場はないか。

A 町では地域住民同士の交流を促進するため、令和６年度より小・中学校の一室にて地域交流カフェを開催しています。休み時間には生徒と地域の方々が対話をしたり、保護者同士の交流が図られています。今後も更に地域住民や保護者の交流が広がる場所となるよう充実させていきたい考えです。

地域交流カフェでの様子

【教育総務課】

≪ 今後の二十歳を祝う会について ≫

Q 二十歳を祝う会への参加者が年々減少している。今後の開催に関して町の考えは。

A 減少していますが、町としては対象者にお声かけをして、人数にもよりますが継続していきたい考えです。
また、実施時期についてのご意見も様々いただいていることから、開催時期の見直しや、富岡町を見ていただくツアーを併せて行う等も視野に入れつつ検討をしていきます。

令和７年１月開催の二十歳を祝う会

【生涯学習課】

産業厚生常任委員会

産業厚生常任委員会が調査した主な事業について報告します。

【所管課】
○産業振興課
○都市整備課
○農業委員会
○生活環境課
○いわき支所
○郡山支所
○福祉課
○健康づくり課

※常任委員会とは②
全議員が必ずどちらかの常任委員会に所属します。
行政視察や事業の現地視察も実施します。

≪ 橋梁工事について ≫

Q 橋梁長寿命化において早期対策が必要と判断された橋梁補修工事の内容は。

A 剥離やクラックなど橋のコンクリートの劣化損傷部分を、特殊モルタルによって局所的な劣化を防止する工種となります。

【都市整備課】

≪ 冠水箇所の把握と対策を ≫

Q 双葉警察署の交差点西側は、雨が多く降ると水が溜まってしまうが、対策は。また、富岡駅の東側地区について、町道の周囲はかさ上げしてある。大雨によって町道が冠水して通行不可になったりはしないか。

A 双葉警察署の交差点西側の状況は把握しており、現在は対策の検討をしています。
また、富岡駅東側地区の町道については災害復旧による現形回復となっています。今後、降雨時のパトロールにおいて浸水等の状況があれば側溝整備を別途検討していく考えです。

【都市整備課】

≪ マイナ保険証等に対する説明体制は ≫

Q マイナ保険証への移行に関して、問い合わせは増加しているか。保険証の紐付けは医療機関やコンビニでもできるが、手続きが不安な方も多いので丁寧な対応を要望する。（要望については両支所へ共通）

A （いわき支所・郡山支所共通）保険証の紐付けがされているか、電話や来庁で確認に来られる方もいます。医療機関でも紐付けが可能なことや、不安であれば窓口においでいただくことをご案内しています。
今後も丁寧に説明、対応をしていきます。

（いわき支所）11月の元気アップ教室に同行してマイナ保険証や紐付けの件についてPRを行い質問に答える時間を設けました。

【いわき支所・郡山支所】

≪ 食品等放射能濃度検査の状況について ≫

**Q 食品等放射能濃度検査におけるスクリーニングレベル超過品目に今回はじめてかぼちゃが報告されたが、地区と超過の要因は。
今後も追跡調査を行い、要因等の把握と説明に努めてもらいたい。**

A 新夜ノ森地区において、敷地内で除染後に山砂を覆土し、元々畑ではない敷地で栽培されたものです。作物を育てる肥料を入れなかったことや、周辺の一部が未除染であることから、放射性セシウムの移行があったものと考えられます。それらを踏まえ、土壌の放射能検査や作物の詳細分析を実施し、原因究明に努めます。

【健康づくり課】

≪ 乳幼児を持つ家庭への事業について ≫

Q 児童・母子福祉における家庭訪問事業の詳細は。

A 生後２カ月未満の子ども、継続支援・経過観察が必要な子ども、町内に転入してきた子ども等の家庭を保健師が訪問し、体重測定や体重増加の確認、栄養状況などの助言等を行っています。

【福祉課】

≪ 大倉山の整備状況は ≫

Q 里山再生事業における大倉山森林公園の整備の進捗は。

A 令和５年度に危険木調査を行い全体で650本程度確認されており、今年度は遊歩道周りの200本の伐採が完了しました。
付随したトイレの復旧については現況調査中であり、今後どのように復旧していくかは検討しているところです。

里山再生事業により整備されている大倉山

【産業振興課】

全員協議会報告　町の重点事業について徹底議論!!

原子力等特別委員会

【施設不具合の洗い出しを】

渡辺正道議員

今回、２号機の使用済燃料プールの配管で腐食によるものと想定される漏えいが発覚し補修したが、使用済燃料が残る１号機において同様の配管の有無は。
放射線量の関係で迅速な確認は難しいのか。

１～４号機は同じ時期に造られているため、同様の配管は存在すると考えます。現在、１号機内の配管の箇所を確認中です。放射線量の関係で人が入れないところは、漏えい監視による確認をし、補修が可能な箇所につきましては２号機と同様に補修を行います。

東京電力HD㈱

【廃炉までの計画について】

東京電力HD㈱

燃料デブリの試験的取り出しが成功し、今後１年程度かけて分析及び今後の安全対策や保管方法の検討を行うとのことだが、並行して廃炉の在り方について中長期ロードマップの見直しや、その報告も必要であると考える。

今後、燃料デブリ取り出しに関する様々な調査・検討が進むことで、廃止措置終了までの議論をするための情報も増えてくると考えています。試験的取り出し以外にも様々な要素によってロードマップの判断に繋がると考えており、進捗については適宜ご報告します。

安藤正純議員

【住民の不安払しょくのために】

宇佐神幸一議員

取り出した燃料デブリを陸送して分析施設に運んでいることに関して一部の周辺住民から不安の声を受けた。
海上輸送はできないか。

海上輸送も可能ですが、今回に関しては陸上の輸送が効率的と判断しました。放射線量も非常に低いものであり、通報基準に則り地元の方々にお知らせをしています。

東京電力HD㈱

【燃料デブリ取り出しの設備について】

東京電力HD㈱

燃料デブリ取り出しのロボットアームは、何メートルまで伸ばした状態で、何グラム取り出せるのか。今後の取り出し作業が延期とならないような見通しを。

ロボットアームについては22メートル伸ばした先端に治具を取り付けて数グラムの燃料デブリの取り出しを数回行う予定としています。現在、現場を模擬したモックアップ試験において検証中ですので、適宜ご報告します。

高橋実議員

◆除染・解体工事、仮置場及び特定廃棄物埋立処分事業の状況等について

（環境省）

問　現在の除染・解体工事が遅れている原因の分析と対策を。（佐藤啓憲）

答　環境省
施工体制の構築など事前調整に時間がかかってしまいましたが、現在は作業班数を増やす等で対応しています。

問　地権者の意向があれば木の伐採や抜根をすることで放射線量の低下に繋がると思われる。ひとつの試みとして検討できないか。（渡辺三男）

答　環境省
放射線量の低減に有効な方法については内部で相談した上で、どのようなことが可能か検討したいと考えます。

問　放射線量が高い地域の除染となっていくことから、これまでのルールにプラスして、効果がある工法の検討を。（堀本典明）

答　環境省
皆さまに安心していただけるよう何ができるかをしっかり検討します。

問　除染・解体工事が遅れている責任の所在がどこにあると考えるか。（渡辺正道）

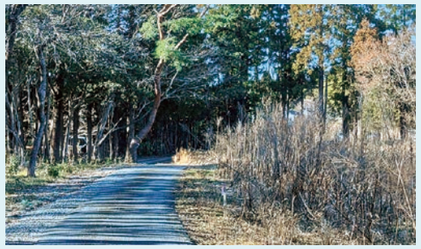
答　環境省
除染・解体を進める我々環境省の責任であり、遅れを取り戻すため全力を尽くすことも環境省の努めと考えます。

問　避難指示が解除された地区の宅地で、様々な理由により管理が難しく草が繁茂してしまう。管理ができない事情に対し、国も寄り添い、協力をしてもらいたい。（安藤正純）

答　内閣府
宅地は所有者の管理が基本であることを前提とし、国の支援メニューの活用も含め、対応について取り組みたいと考えます。

問　特定帰還居住区域の道路において、繁茂する枝や草のため走行等に支障をきたす箇所が見受けられるので管理を要望する。（宇佐神幸一）

答　竹原副町長
道路に関しては道路管理者の責任となっています。町道に関しては町がしっかりと確認し対応します。また、県道につきましては、県の管理者と調整していきます。


現在は除草されている点・線拠点の町道

◆令和６年度第２回リフレ富岡跡地の利活用について

（産業振興課）

問　物販スペースのイメージ図でトイレの出入り口が外からだけだが、天候や利用者の状態によっては不便では。（辺見珠美）

答　産業振興課
基本計画の中での検討により、車中泊の需要についても今後見込めると考え、外側の設置を記載したところです。

問　これまで受けた説明より金額が大幅に上がっている。はじめから大きな施設を造るのではなく、町内居住者数の実情に合った規模の施設を整備し、居住者が増えてから増設をするような計画が良いのでは。（渡辺三男）

答　産業振興課
基本構想における施設の面積、規模感については変わりがなく、物価高騰の煽りを受けたことで想定より金額が上がっているものです。

ちょっとひとこと みなさまの声

二十歳を祝う会
実行委員長
大和田紗希(おおわださき)さん

【経歴】
- 福島県立ふたば未来学園高等学校 卒業
- 比較文化研究所 南アカデミー iBS外語学院 卒業

Q.20歳を迎えた感想は？

A. 自分の中で何かが変わったような感覚はないですが、毎年迎える誕生日に比べると喜びや嬉しさは大きかったなと思います。多くの方との出会いがあって今の自分があると思うので、これまで関わってくださった方へ感謝を伝えたいです。

Q.20歳を迎え、まずやってみたいことは？

A. 福島県はもちろん、東北各地に旅行に行きたいです。お気に入りの場所が見つかると嬉しいですし、美味しいものもたくさん食べたいです。高校卒業後は鹿児島に進学したこともあり、より地元のことを知りたいという思いが強まる日々だったので東北の魅力をたくさん知って、愛を深めていけたらいいなと思っています。

Q.ふるさと富岡での思い出で、心に残っていることは？

A. いろんな場所を母や妹と散歩したことです。買い出しに行って、その帰りに池にいる白鳥に食パンをあげてみたり、桜並木の桜の花びらを拾い集めて家に持ち帰って遊んだりと富岡の自然にふれながらのんびりとした日常を過ごしていたのが思い出です。

Q.富岡の復興のために、何が必要だと思いますか？

A. 私自身、復興とは町や地域などその場所を想う人が増えることだと考えています。人口や公共施設の数など目に見えるものだけでは測れないことがあるように感じます。富岡町民であるなしに関わらず富岡が好きだ、大切にしたいという思いが富岡町をより素敵な場所にしてくれるのではないかと思っています。

Q.将来の夢はなんですか？

A. さまざまな人の生き方や考え方を尊重できる人になることです。自分と違う考えにふれたときは新たな視点を得られたと受け止め、よいところは吸収したりと、自分の世界を広く持っていたいです。５年後10年後の自分なんて想像もできないですが、今の自分がみたときに素敵だと思えるような人でいたいと思います。

議会を傍聴しませんか？

- ３月定例会は、11日(火)～17日(月)の会期で開催する予定です。
- 所定の用紙に、住所(市町村名まで)・氏名・性別・年齢を記入いただくだけで、どなたでも傍聴することができます。
- 審議日程など、詳細については議会事務局までお問い合わせください。

議会事務局　☎0240-22-2111(代表)

編集後記

表紙は「二十歳を祝う会」。二十歳を迎えられた皆さんおめでとうございます。

私はこの行事がまだ「成人式」と呼ばれている頃に二十歳を迎えました。中学校時代の同級生と笑い、はしゃいだことが今も忘れられません。

「二十歳を祝う会」に出席された皆さん、友達と久々の再会で良い思い出ができたのではないでしょうか。

「離れていてもふるさとはいつもここにあるからねー。」これからも楽しいこと、大変なこともたくさんあると思いますが、時には周りを頼ってそれぞれの人生に華を咲かせてくださいね。

夢に向かって一歩一歩前に進む皆さんを応援しております。

（高野　匠美）

発行責任者
議長　堀本典明

議会広報特別委員会
委員長　佐藤啓憲
副委員長　辺見珠美
委員　平山　勉
委員　高野匠美

■発行／富岡町議会　■編集／富岡町議会広報特別委員会　■富岡町公式ホームページ https://www.tomioka-town.jp/　■印刷／㈱日進堂印刷所

FSC® の基準に従って認証され、適切に管理された森からの木材を含んだ用紙を使用して印刷しています。
ミックス 紙｜責任ある森林管理を支えています FSC® C020493
この印刷製品は、環境に配慮した資材と工場で製造されています。